

2019年度 男女共同参画委員会のまとめ

(1) 2019年度委員会構成 理事9人・担当役員1人・職員3人

(2) 2019年度の活動

1) 活動方針

男女共同参画（社会や家庭、職場で、性別を問わず、誰もが1人の人として尊重され、お互いに認め合うこと）をテーマに、社会や組合員の生活場面での「気づき」や、職員の労働環境における男女共同参画をすすめるためのとりくみをすすめます。

2) 活動内容

①気づきの活動

- ・組合員向け企画の具体化を図りました。

「新しい自分の発見。」

仲岡しゅん弁護士の生き方から学ぶ

講師：仲岡しゅん弁護士

LGBTに関わる生きづらさは何に由来しているのか、その原因を考える機会とします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、秋に延期となりました。

- ・イクボス宣言者を、役員（11人）から、現場の管理職（78人）まで拡大しました。

- ・役職員向け学習会の具体化を図りました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。



「新しい自分の発見 仲岡しゅん弁護士の生き方から学ぶ」企画チラシ

②広報活動の推進

- ・ホットメール（組合員活動情報誌）、機関誌いずみ、ホームページに、委員会報告や行政訪問報告を掲載しました。

- ・行政訪問をきっかけに、東大阪市や岸和田市のとりくみのチラシや広報誌をコープのお店で配架しました。

③委員会活動の推進

- ・構成メンバーで「ミニ学習会」を行い、情勢や課題を共有しました。

- ・エリア内自治体の男女共同参画担当部署を訪問し、情報交流をすすめました。

2019年：岸和田市（9月）・東大阪市（10月）・熊取町（12月）

2020年：松原市（1月）

- ・いずみ市民生協で働く職員の就労状況や各種制度の取得状況などを共有しました。